

乙 頁

第44号 通巻9号第3号

1989年4月26日 発行

守山市立埋蔵文化財センター

☎ 0775-85-4397

〒 524-02

守山市服部町2250番地

☆ はじめに ☆

4月もはや後半に入りました。ほほにあたる風はこちよく、かすんだ空からさす太陽の光は、やわらかさを感じます。この光をいっぱいを受けた大地には、麦や野草が緑のじゅうたんを敷きつめたように生い茂り、畦の傍らには菜の花があざやかな色をして咲きほこっています。

さて、4月は人の動きがある月ですが、埋文センターでも昨年のメンバーに新たに1名が加わりました。所長をはじめ9名で調査、普及、啓発にあたりますのでよろしくお願い致します。

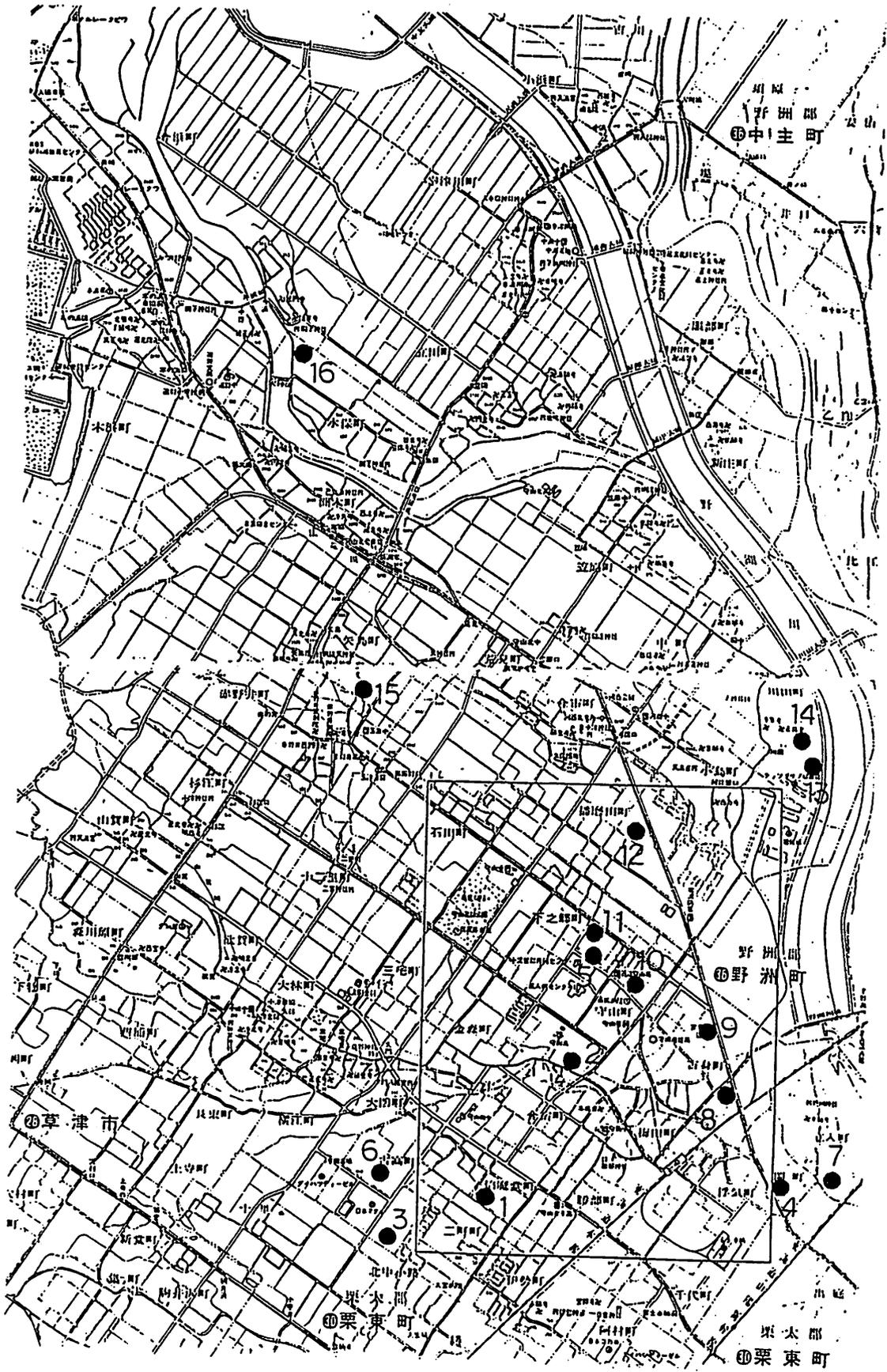
〔新しく調査員として迎えました川畑和弘君の着任の挨拶〕

4月より当センターにお世話になるようになりました。3月まではのんびりした大学生活を過ごしていました。大学というところは変なところで人々の年齢層が一定していて、その九割程が20才前後という一種の同世代集団ということが出来ます。そのなかで形づくられていく価値観は、社会とあまり交渉がないせい、あるいは同世代人としかなかる話さないせい、単一でうすっぺらな尺度しかもちえないようなところもあります。現時点身の景色は激変し、その価値観は様々な刺激に揺らぎはじめ、鍛えられ新しい価値観が要求されているようにも思えます。5月初めから古高町下長遺跡の調査に参加します。思い出深い現場になればと期待しています。

☆ 発掘調査だより ☆

今年度の発掘調査予定は4月当初で16件を数えます。(図・表参照) 年度当初でのこの件数は、例年に比べて多いもので、今後も開発にかかる調査が徐々に増えていくことが予想されます。

さて、今号では既に終了した3遺跡と現在調査中の3遺跡について、調査結果について紹介します。(遺跡名のあとの番号と地図番号・調査一覧表は一致します。)



調査終わる！

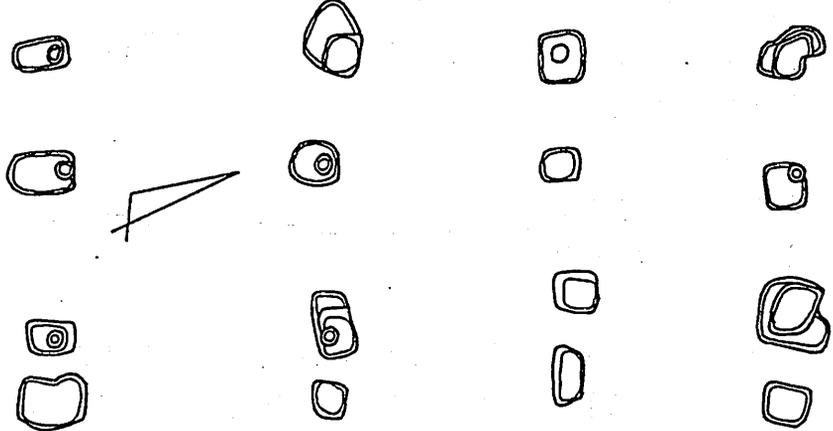
二町鏡遺跡(1)

物部小学校
建設に伴って、

昨年12月から
調査を進めて
いた二町鏡遺
跡の調査が終

了しました。
4月に入って
から体育館部

分を約2000m²
発掘していま



二町鏡遺跡で検出した掘立柱建物平面図

したがこの箇所からは以前に報告した平安時代後期の建物とは別に奈良時代末～平安時代初期の掘立柱建物1棟、平安時代後期の溝多数、縄文時代後期の土壇5基が発見されています。中でも縄文時代の遺構は珍しいもので、近くに集落跡のあることが確実視されます。また、掘立柱建物は平安時代後期のものに比べると方向が異なり、奈良末～平安初は南北に近く、平安時代後期のものは北から30°東に振っていて、時代と共に変化したことがわかります。また、条理制の地割が平安時代末に行われ、それに合わせて建物が規則的に建て替えられたものと思われます。

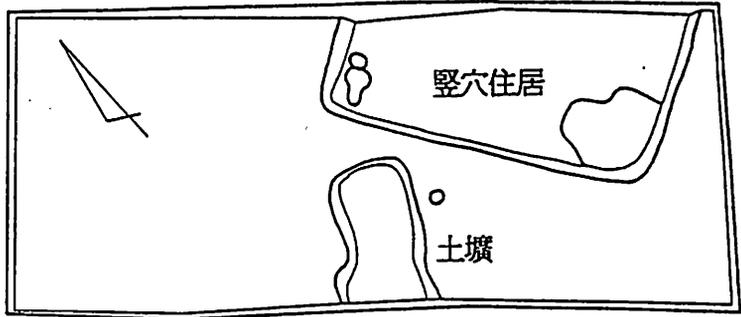
調査の結果を概括すると、縄文後期、弥生中期、古墳中期、奈良末～平安初、平安後期、江戸～明治の六つの時代の遺構が重なり合って、造られていたことが特徴であると言えます。また弥生中期は墓域が判明し、近くに大きな集落のあることが予想されます。いずれも栗太郡の北部に展開した歴史を、豊かに物語るものです。

金森東遺跡(2)

守山高校の南約50m付近で、個人住宅の建築に先立って調査を実施しました。対象面積151m²のうちで、建物の部分にあたる約60m²を調査しました。

調査の結果は、約20cmの旧畑作土を除去したところで、黄褐色粘土をベースに竪穴住居1棟とピット1穴、土壇1基を検出しました。竪穴住居は調査区外へのびるため全体を現していませんが、一辺3.4mの大きさで、20cm程度の深さを測ります。埋土は茶褐色ないし黄茶色粘土で埋まっています。土師器片を含んでいました。検出した範囲では、柱穴や貯蔵穴などの建物に関わるものは見

わかりませんでした
が、時期は古墳時代
後期にあたるものと
思われます。ピット
と土壇についても、
竪穴住居と同じ埋土
を有していたことか
ら同時期と考えられ
ます。



金森東遺跡平面図

今回の調査は狭い範囲でしたが、明確な遺構を検出することができました。隣接する道路は昭和59年に、向かいの宅地は前年に調査が実施されていて、弥生時代から古墳時代の竪穴住居がみつまっていることから、今回検出した竪穴住居もこれらの建物群のひとつと考えられます。

平成元年度実施発掘調査一覧表

番号	遺跡名	所在地	面積㎡	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	二町鏡	二町町	3000	—											
2	金森東	守山町	150	—											
3	塚之越	古高町	400	—											
4	岡	岡町	1000	—											
5	吉身西	下之郷町	2000	—											
6	下長	古高町	16000	—											
7	大塚	立入町	2000				—								
8	益須寺	吉身町	1600	—											
9	二ノ畦	吉身町	400							—					
10	横枕	守山町	1800				—								
11	下之郷	下之郷町	1500				—								
12	酒寺	播磨田町	9000				—								
13	川田	川田町	3000	—											
14	川田	川田町	2000							—					
15	寺中	矢島町	950							—					
16	今浜城	今浜町	9000						—		—	—			

塚之越遺跡(3)

市の西端、栗東町に接する古高町字横田で、一正蒲鉾社員寮新築工事に先立

つ調査を4月18日より実施し、22日で終了しました。事前に行った確認調査により、全体の1900㎡のうち遺構の確認できた500㎡が調査対象地です。検出した遺構は、耕作土のほぼ直下で地表より約30cmを測ります。茶灰色粘土層を地山として見つかりました。遺構は北西から南東方向への溝6条とピット、不定形の土壇です。溝は、出土した遺物から鎌倉時代にあたると思われ、他の遺構については時期は不明です。

調査の結果は以上の内容ですが、遺構が希薄なことからすると、調査区は塚之越遺跡集落の端近くにあたると考えられます。

調査 継続中！

岡遺跡(4)

岡町字寺前において、マンション建設に先立つ調査を4月12日より始め、120㎡を調査の対象としています。遺構は耕土下約50cm程で見つかり、ピット、土壇、旧河道を検出しています。また旧河道内で竪穴住居とその周辺でピットがみつかっています。このうちピットは大きさも異なっていて建物を構成するようなものではありません。また土壇2基のうち、1基は浅くおちこんだなかに幅約40cmの溝が馬蹄形におちこみ、中央を台状につくっています。今のところ性格はわかっていません。旧河道内で見つかった竪穴住居については現在調査中で次号で紹介することにします。遺物は須恵器の坏、土師器の高坏等が出土しており、古墳時代後期に比定できるものと思われれます。また旧河道内のピット1穴から小形丸底壺が出土しています。

調査地の西側では昭和56年と前年に調査されていて、56年の調査からは古墳時代後期の竪穴住居群、鎌倉時代の掘立柱建物などが、前年の調査では古墳時代後期の竪穴住居をはじめとする遺構が見つかることから、本調査区へも集落の広がりを確認したといえるでしょう。

吉身西遺跡(5)

守山町字八作において、宅地造成にかかる事前の調査を開始しました。4月17日から始め、1800㎡を対象としています。これまでにわかったことは、耕土直下で60cmの幅をもつ溝1条を検出しています。この溝はほぼ直線的に南北方向へ走り、7～8層の埋土が堆積していて、その深さは70cm前後を測ります。遺物は古墳時代前期の土師器が小片ながら多数出土しました。

吉身西遺跡では、これまで数次にわたって調査を実施しており、弥生時代中期から平安時代までの複合遺跡として捉えられています。近接地での調査としては昭和61年に北西50mで行われ、弥生後期の方形周溝墓2基を検出していま

す。調査は6月下旬まで予定しており、調査が進むにつれて新たな知見が得られると考えられます。

下長遺跡(6)

古高町字北八重で、工業団地造成工事に伴う調査を4月18日より開始しました。全体の造成面積が65000㎡もあり、今年度は約10000㎡を調査予定としています。この下長遺跡では、過去2件の調査例があり、縄文時代から中世に至る遺構、遺物を検出しています。昭和58年度の調査では、素文鏡(ミニ銅鏡)、剣型木製品、竪杵などが土壌、溝より出土していて、祭祀に関わるものと考えられます。また昭和63年度の調査では土壌から古墳時代前期・中期の土師器が出土しています。(今回の特別展で紹介)

現在、対象地北東辺で800㎡あまりの調査区を調査していて、土壌、井戸、ピットを検出していますが、時期は今のところ不明です。遺構の掘削作業が進み、遺物が出土すれば、いつごろの遺構であるかを知ることができるでしょう。

今までの2件の調査成果では、この遺跡を明確に語ることはできませんが、今回の調査でこの下長遺跡の実態解明が飛躍的に進むものと期待されます。

☆ 春季特別展の開催が変更になりました!! ☆

前号で今年度第1回の特別展についてお知らせしたところですが、開催期間等に変更がありましたので、今号で改めてお知らせします。

記

- 1 開催テーマ 「昭和63年度発掘調査速報展」
- 2 開催期間 平成元年5月3日(祝)～14日(日)
- 3 関連行事 スライド会 5月3日(祝) 午後2時から3時
- 4 開館時間 9:00～16:00 (開催期間中は無休)

今回の特別展は昨年度に実施しました15遺跡26件の調査のなかで、13遺跡21ヶ所の遺跡調査で、出土した遺物を展示し、解説文や図、写真パネルで説明、紹介します。また展示遺跡をより詳しく知っていただくためにスライドを用いた説明会を行いますので、どうぞ来館下さい。

☆ 後 記 ☆

今回の「乙貞」から編集を担当することになりました。発行までわずかな日数しかなくてあわてました。そのため発掘調査日よりだけになって話題に欠ける今号となりました。大変申し訳無く思っています。次号からは早く情報を蒐集して、余裕をもってゆっくりと手掛けるようにしたいと思っています。